M21/3/22 に與へ案スミ

幣原總理及吉田外相へは提出済み　大野

A'1.0.0.1-4-1

在中華民國南京大使館堀内公使ヨリ
總理及外務大臣ニ報告ノ件

昭和二十一年三月十二日上海ニ於テ聽取
大使館一等書記官　勝野康助

一、要旨

自分（堀内）ハ敗戰後ノ日本ノ對中國關係ニ付テ宋子文行政院長（宋不在ノ時ハ上海ニ於ケル其ノ代理タル彭學沛）ト隨時會談セリ

宋ト自分トハ須磨公使南京在勤時代自分カ藏本事件ノ留役トシテ運動セル關係モ在リ舊知ノ間柄ニシテ、彼ハ最初ノ會見ノ際自分ヲ「オールド、フレンド」ト呼ヒ種々不自由アルヘキニ付公人トシテハ諸般ノ關係上御意見ニ從ヒ難キ點アルヘキモ私人トシテハ如何ナル御世話モ致シ度ク、不取敢住宅及自動車ノ提供ヲ爲スヘシト申出タル程ナリ。斯カル關係上自分ハ宋ニ對シ

（一枚通別編にしておく）

外務省